

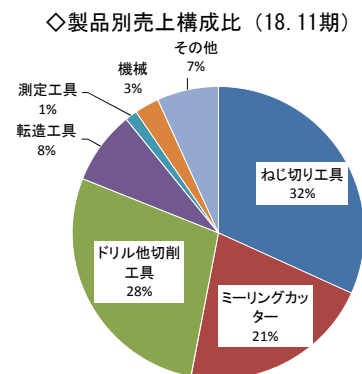
# 企業ニュース OSG

(東証1部 : 6136) [https://www.osg.co.jp/about\\_us/ir/](https://www.osg.co.jp/about_us/ir/)

作成者: 奥村義弘

## タップで世界トップシェア

1938年、大沢秀雄氏が東京に大沢螺子研削所を創立。タップ、ダイスの製造、販売を開始した。1968年に最初の現地法人を米国に設立、以来積極的に海外展開を進め世界33カ国に渡るグローバルネットワークを築いている。現在では世界約30%のトップシェアを持つねじを切る工具であるタップを中心に、形を削り出すエンドミル、穴をあけるドリル、ねじを加工する転造ダイス、形を削り出すインデキサブル工具などをそろえる総合工具メーカーに成長している。中期経営計画では20. 11期の経営目標に連結売上高1, 500億円、連結営業利益300億円を掲げる。



(出所) OSG資料よりCAM作成

## 自動車、航空機産業向けに好調続く

18. 11期の連結業績は売上高が1, 314億円、前期比9%増、営業利益が225億円、同18%増。売上高、営業利益ともに過去最高を更新した。高水準の受注残となっている。コーティング製品など高付加価値品の需要が強く、能力増強のための新工場設立を計画している。地域別には日本では自動車、半導体向けに順調な受注が継続した。米州では、米国で航空機産業向けが大幅に伸長、メキシコで自動車関連向けが引き続き好調を維持した。欧州では主要国でシェアがアップ、新規連結子会社も堅調であった。アジアでは、台湾工場の能力を増強した。韓国の低迷が続き、10月以降中国で陰りがあるもののインド、タイは非常に好調であった。

19. 11期の通期会社計画は為替前提が1ドル=105円、1ユーロ=125円。連結業績は売上高が1, 370億円、前期比4%増、営業利益が240億円、同7%増。受注残が高水準で、能力増強が業績拡大につながりやすい。18年6月に値上げを実施しており、今期はその浸透で利益貢献が期待できる。自動化ニーズの強まりで自動車向け以外にロボットや半導体製造装置向けも活況でサイズ・ミックスなど付加価値の高いものが増えているのが好印象。

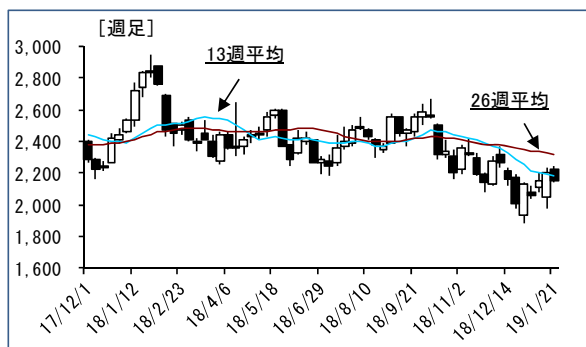
### [株価動向・投資判断]

長期ビジョンでは主力製品で世界トップシェア、営業利益率は20%の高収益企業を標榜。配当性向は30%以上を掲げ、業績向上が株主還元にも結びつく企業として注目できる。

<6136 OSG 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17. 11	120, 198 ( 14)	19, 137 ( 5)	19, 144 ( 7)	13, 993 ( 38)	153. 7	46. 00
18. 11	131, 368 ( 9)	22, 520 ( 18)	22, 567 ( 18)	14, 710 ( 5)	150. 5	記47. 00
19. 11 予	137, 000 ( 4)	24, 000 ( 7)	24, 000 ( 6)	15, 300 ( 4)	156. 2	47. 00



株価 (2019/1/21)	2, 153 円
昨年来高値 (高値日)	2, 949 円 (18/1/23)
同 安値 (安値日)	1, 883 円 (18/12/26)
予想 P E R (19. 11 予)	13. 8 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	1, 279. 3 円
P B R	1. 68 倍
予想配当利回り	2. 18 %
(1株当たり配当金47. 00円)	
R O E (18. 11)	12. 2 %
発行済み株式数	9, 806 万株